

町政に関する

一般質問の主題

福井 和義

- 水害に強い町づくりについて
- 安全な通学路について

村上 真由美

- 防災備蓄品に災害用オストメイト専用トイレを
- 松伏町における産婦健康診査事業の実施
- 障がい児（者）生活サポート事業の導入
- 教育の充実

川上 カ

- 特色と魅力ある町興し戦略
- マイナンバーカードの普及推進
- 相談業務の機会拡充

増田 秀雄

- スポーツ・文化事業の推進について
- 予算配分の考え方について
- 子ども医療費の現物給付化について

砂川 清時

- 松伏町第5次総合振興計画について

一般質問の会議録全文は
町のホームページから検索できます

松岡 高志

- 町道の維持管理にSNSを活用した通報システムの導入を
- 新ハザードマップで災害に強い地域づくりを

平野 千穂

- 介護保険利用料の負担軽減をせよ
- 子どもの人権やジェンダー平等の視点での校則見直しを
- 通学路の調査をおこない安全対策をせよ

吉田 俊一

- 大雨災害にそなえる河川や排水路の適切な管理、改修について
- ハザードマップと連動した大雨災害に対する情報の公表と判断基準について
- 社会教育主事の資格をもつ職員の養成が必要ではないか

高野 祐大

- 新型コロナウイルス感染症への町の対応について
- バス交通と道の駅のバスターミナルについて

田口 義博

- 環境保全対策について

10人の議員が町政を問う



ふくい かずよし 福井 和義 (無所属クラブ)

Q 危険な通学路は何か所あるのか

A 小中学校合わせて43か所ある

問 千葉県八街市で小学生の列にトラックが突っ込み児童5人が死傷する事故があった。松伏町でも事故の危険がある通学路は多数ある。各学校の危険箇所は何か所あるのか。

答 教育総務課長 松小15か所、金小5か所、二小11か所、松中8か所、二中4か所、合計43か所ある。

問 危険度の高い場所の1つに町道3号線がある。自転車店から広域農道の金杉小学校入り口までは、7時30分から8時30分まで、車進入禁止になっている。下校時も車進入禁止にできないか。また、3号線は30kmの速度規制になっているので、スピード違反の取り締りもできないか。

答 教育総務課長 学年の下校時間が違うので難しい。また、スピード違反の取り締りは令和2年度に実施した。今後も吉川警察署に依頼する予定。

問 町道3号線の拡幅工事の完成はいつか。

答 まちづくり整備課長 4年度末を予定している。

問 水害に強い町づくりについて。九州では、大雨で河川が氾濫し大被害になった。松伏町でも、平成27年、台風18号の大雨により床上床下浸水、約320棟あった。7月に全戸配布された江戸川ハザードマップで想定される浸水状況の信頼度は。

答 総務課長 江戸川洪水ハザードマップは、国や県の公表を基に作成したので信頼できる。



町道3号線は30kmの速度規制



むらかみ まゆみ
村上 真由美 (公明党)

Q 備蓄品にオストメイト用トイレを

A 今後、必要性も含め検討する

問 オストメイトの方たちは突然のトイレを必要とし、その処理時間も長くなる。そのため、災害時ではトラブルとなる場合がある。トラブルを未然に防ぐためにも組み立て式の災害用オストメイト専用トイレが必要だ。町の考えを聞く。

答 **総務課長** 「災害用オストメイト専用トイレ」については、現在、防災備蓄品として準備していないが、今後、必要性も含め検討していく。

問 現在町では、障がい児（者）の支援として、短期保護委託や期間を限定して移動支援のサービスを行っている。制度を見直し生活サポート事業を導入する考えについて聞く。

答 **いきいき福祉課長** 既存制度の利用者に不利益がないような円滑な移行方法や財源の確保等について精査を行ったうえで、今後「生活サポート事業」の導入に向けて検討していく。

問 文部科学省は令和3年6月8日付けで全国の教育委員会に校則の見直しをするよう通知をした。校則の見直しの際には、学校、児童生徒、保護者が

協議しながら決めていく事が望ましいと思うが町の考えを聞く。

答 **教育総務課長** 児童生徒や保護者の意見も取り入れながら、見直しを進めていき、児童生徒が自らの学校における生活をよりよくするために守ろうと思える校則になるよう各校へ支援していく。



災害用オストメイト専用トイレ

かわかみ つとむ
川上 力 (公明党)

Q 「まつぶしカレーの日」の制定を

A カレーのまち推進会議で協議する

問 松伏町は日本で初めて純国産カレー粉を製造した方の出身地であり、カレーのふるさとといえる町である。知名度向上にカレーの日を制定しては。

答 **環境経済課長** 関係企業の意向も確認し、カレーのまち推進会議で事業内容の一つとして協議する。

問 地域再生と若者定住と事業継続も視野に入れた奨学金返還支援制度の導入をしてはどうか。

答 **町長** 制度の導入は、実施自治体の状況や実情などを見て調査研究していく。

問 デジタル時代のパスポートであるマイナンバーカード普及に住民票などのコンビニ交付の導入を。

答 **住民ほけん課長** 住民要望の高まりは感じており、国の財政支援やマイナンバーカードの普及状況を見据え、引き続きコンビニ交付の導入を検討する。

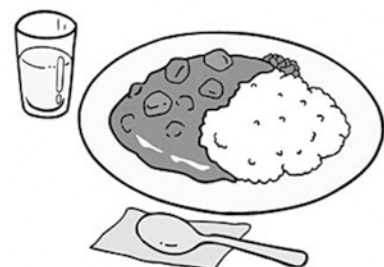
問 マイナポイント事業を実施するとともに広域的な取り組みで魅力アップを図ってはどうか。

答 **企画財政課長** 広域的に自治体マイナポイント制度を運用することで、住民や事業者にメリットが発生し、マイナンバーカードの普及を促すことが

できる。5市1町で集まる機会で見聞を出していく。

問 高齢化が進む中で介護認定者も増加し続けている。介護の相談にあたる地域包括支援センターの相談業務を日曜日を行うなど改善はできないのか。

答 **いきいき福祉課長** 日曜・祝日の相談業務は、需要に合わせた対応ができる体制を整えていきたい。





まずだ **増田** ひでお **秀雄** (未来クラブ)

Q スポーツ・文化団体へ補助金増を

A 新たな事業を実施する場合は検討

問 スポーツ団体、文化団体の事業振興のため補助金の増額を。

答 **企画財政課長** 団体において新たな事業を展開する場合は、その事業の効果などを検証し、事業費補助の観点から増額することもあるが、団体運営の補助として補助金を増額することは、現段階で検討していない。

問 一般会計の支出バランスを町はどう考えているか。

答 **企画財政課長** 予算全体のバランスを見ると、民生費、いわゆる扶助費の歳出は増額しており、予算全体に占める割合は増大している。

予算編成では、限られた予算の中で、事務事業の優先順位を見極め、これまで以上に事業の選択と集中を推進し、国、県からの支出金の特定財源の獲得、交付税措置のある有利な地方債等の活用により、より一層の歳入の確保に努め最少の経費で最大の効果が上がるよう編成している

問 子ども医療費の現物給付化について。

答 **すこやか子育て課長** 令和3年10月から市町村

のシステム改修、令和4年10月から現物給付化実施となる。町の進捗状況は、令和3年9月議会に子ども医療システム改修委託料を補正予算計上したが、議決後、速やかに実施する。埼玉県全域で現物給付化を実施することにより、受給者の利便性が向上すると考える。



高度な音楽性を誇る田園ホール・エローラ



すながわ **砂川** きよとき **清時** (自民クラブ)

Q ゆめみ野北地区の開発を問う

A 町主導の開発は厳しい

松伏町第5次総合振興計画は、残すところ3年となり、人口増に向けた取組み状況を聞いた。

問 企業誘致の状況は。

答 **新市街地整備課長** ①松伏田島産業団地事業は、令和4年3月までに企業に引渡される。町は企業と周辺住民との間に入り、企業説明会の開催等オブザーバーとして今後も関与していくことを約束。②大川戸地区の整備として、モリト(株)への誘致を行い、オリックス(株)による物流倉庫が建設され、現在5社が進出。③既存工業団地の拡張は、民間開発に期待し、町はこれをサポートする。

問 土地利用(市街地の整備)の状況は。

答 **新市街地整備課長** ゆめみ野北地区の開発は、地権者の3割が反対(理由:主に減歩率が5割では、事業を行うには厳しい)で、現状、町としての開発は厳しい。しかしながら、6割の賛成者の意見も尊重し、今後民間による開発が進むよう整備していく。

問 町の将来人口について、町長に聞いた。(2023年

31,000人は達成できるか。)

答 **町長** 人口減少対策は、町の活気づくりや税収の意味で優先的に取組まなければならない。目標達成は大変厳しいが、目標は修正しない。各種施策事業を着実に進め目標達成を目指す。



松伏町都市構想の将来と現状



まつおか たかし
松岡 高志 (未来クラブ)

Q 道路修繕要望にSNSの活用を

A 導入には慎重な調査研究を要する

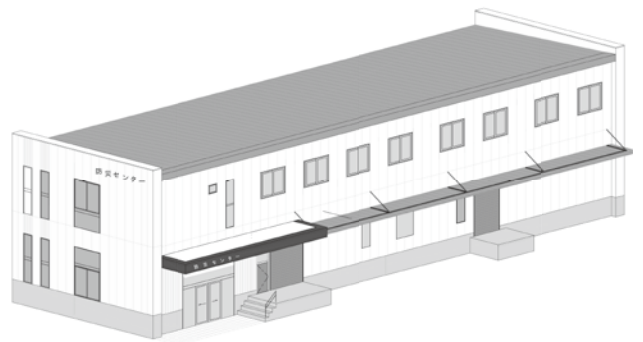
問 鎌倉市ではLINEを活用した道路損傷等の通報システムの運用を始めた。町での導入の考えは。

答 まちづくり整備課長 鎌倉市では、今年の5月よりLINEを活用し、道路の損傷箇所などを気軽に通報できる道路損傷等通報システムを本格的に運用している。このシステムは、スマートフォンの写真撮影機能と位置情報計測システム機能を利用して通報することができ、迅速な補修に役立つこととしている。SNSを活用し、町民等が気軽に行政と接点を持ち、まちづくりへの意識を持っていただくことは、大変望ましいことと考える。また、限られた職員の中で、常時町内の道路損傷等を確認することは、非常に困難な状況にあることから、道路の状況を把握する手段としては、有効な手段とも考えている。システム導入については、職員の負担軽減につながるかどうかも含め、慎重に調査・研究する必要があると考えている。

問 新ハザードマップの効果を十分発揮できるように、新しく建設する防災倉庫の会議室を活用できない

か。

答 町長 防災倉庫の2階の会議室は、災害時における町の中心的な拠点として、災害対応での活用方法が大前提であると考えている。その次に、町民の皆様に対する防災教育及び啓発の拠点とするなどの有効な利活用があるものとして考えている。



松伏町新防災倉庫のイメージ



ひらの ちほ
平野 千穂 (日本共産党)

Q 他市の多くは毎年通学路点検実施

A 町独自では未実施、今後検討する

問 千葉県八街市での下校中の児童の事故を受け、文科省は、小学校・PTA・道路管理者・警察が合同で通学路を点検するよう通達している。調査は行ったのか。調査結果による、通学路変更の検討、安全対策の整備スケジュールを問う。

答 教育総務課長 埼玉県は、およそ5年毎に学校と保護者で通学路安全総点検を実施しており、今年は調査年度。各小中学校で通学路の調査を実施し、危険箇所を県へ報告した。通学路の変更は、各学校が実情に応じ随時行っており、金杉小学校は保護者からの要望があり今年度一部変更した。

答 まちづくり整備課長 危険箇所は43か所。そのうち、町が対応する箇所は23か所。令和4年度から5か年の通学路整備計画を策定し対応するが、予算内で出来るものは今年度中に実施したい。

問 ①今年8月から、施設入所者で年金等120万円超の人は食費負担額が月額約2万2,000円増額。ショートステイでは、年金等80万円以下の人でも1日390円が600円へ引上げとなった。対象者は、

②県内63市町村のうち41市町村が介護サービス利用料の一部軽減をしている。実施できないか。

答 いきいき福祉課長 ①食費負担増額の方は63人、資産要件により限度額認定申請が却下となった方は12人。②低所得者への介護サービスの軽減は、町の財政等を勘案し慎重に検討していく。





よしだ しゅんいち
吉田 俊一（日本共産党）

Q 大雨に備える河川整備の要請を

A 県の予算編成に向け要望を準備

問 町内の排水路の流末となっている大落古利根川や中川の、土砂のしゅんせつや、雑木の伐採について、関係する国や県に対して要請をしているのか。

答 **まちづくり整備課長** 大落古利根川の河道内の土砂のしゅんせつ、雑木の伐採については、埼玉県への令和4年度の予算・施策への要望活動として、宮代町・杉戸町・松伏町の共通要望として埼玉町村会から埼玉県町村会を経由し、要望をしていただけよう準備をしている。中川については同様の準備はしていない。

問 令和3年度には河川の整備が計画されているのか。

答 **まちづくり整備課長** 大落古利根川では、令和2年度に伐採工事が実施され、令和3年度の予定はないと聞いている。土砂のしゅんせつは、古利根堰の改修にともない、堰周辺のしゅんせつを実施すると伺っている。中川は田島橋から旭橋の間600mの区間においては、護岸工事の設計が行なわれるとのこと。

社会教育主事の養成を

問 職員の資格取得の状況は。

答 **教育文化振興課長** 課内では1名が資格取得している。資格取得の呼びかけは、現段階では行っていない。社会教育法で社会教育主事を置くことになっており、資格取得の機会提供に努めていく。



寿橋下流（大落古利根川）で実施された土砂のしゅんせつ。2019-2020年度。



たかの まさひろ
高野 祐大（チェンジ松伏）

Q 町内の救急搬送困難事案は

A 全国で増えている

問 全国で患者の搬送先がすぐに決まらない、救急搬送困難事案が増加している。町として、町内の救急体制についてどのように評価しているのか。

答 **すこやか子育て課長** 埼玉県の救急医療体制につきましては、初期救急、二次救急、三次救急等、必要な医療に応じた救急体制が整備されている。コロナウイルス感染症の対応としては、町では保健センター内にコールセンターを設置している。

問 コロナ感染症の拡大の中で、町内に限った救急体制というところで、救急搬送困難事案は。

答 **すこやか子育て課長** 総務省で発表している、全国の52の消防本部の統計によると、集計期間が8月23日から8月29日までの1週間で、全国で搬送困難事案件数が3,153件、これは前年の同時期に比べるとプラス121%、議員ご指摘のように救急搬送困難事案は増えている。

問 消防は自治体の事務である。吉川松伏消防組合に負担金を出している状況。町は知らないというのは、話が短絡的過ぎる。町として、町内の救急搬

送困難事案を把握しようと努めた経過はないのか。

答 **すこやか子育て課長** 町内においては、約15件程度の救急搬送困難事案、これは緊急事態宣言発令以降の数字である。うち、コロナ疑いがある方が11件、その他で4件という形で報告は受けているところ。

事務の共同処理の現況と課題

| 事務の共同処理の現況と課題 | |
|---------------|--|
| 一部事務組合 | |
| 現況 | ○法人格を有するため、財産の保有が可能 ○固有の執行機関を有するため、責任の所在が明確 |
| 課題 | ○構成団体が増加するほど、機動的な意思決定が難しい ○構成団体の議会の直接の審議の対象にはならない |

出典：総務省「地方公共団体における事務の共同処理の改革に関する研究会報告書」
(https://www.soumu.go.jp/main_content/000051522.pdf)



たぐち よしひろ
田口 義博 (自民クラブ)

Q 枝や草の繁茂が原因となる苦情は

A 適切な町道等の管理に繋げていく

問 町道沿いの枝や草の繁茂が原因となる苦情の実態はどの様になっているか。

答 まちづくり整備課長 例年苦情要望は受けている。速やかに原因者に出向き指導するも、連絡等が取れず直接指導できない方（4件）に文書指導した。

問 所有者等が拒んで解決に至らないケースはあるか。不良状態の解消に、勧告や必要な処置を発令したことはあるか。

答 環境経済課長 道路沿いに限らず、農地を含め年間100件程度ある。すべてに解決するわけではなく、継続的に対応行なっている。勧告や発令といった手続きは、ここ数年はない。

問 解決に大きな声を上げて改善には至らず、条例を上手に使うべきだ。町内の一斉点検をしてはどうか。

答 まちづくり整備課長 町内の一斉点検は職員体制上実施することは困難。外へ出る際はパトロールを兼ねて道路状況を把握するよう努めている。通学路は、7月に学校関係者が中心となって通学

問 路安全総点検を実施した。自治会から情報提供を。住民の声として、机に向かっていただけでは町の様子が見えてこない。危険個所を危険個所と思わない状態が続いているのではないかと、話す。

答 町長 道路の小さな穴でも早く関係課に伝え、改善を図る。心地よい生活空間の町にしたい。



(築地地内) 草で繁茂した町道

文教民生常任委員会 所管事務調査報告

新型コロナウイルスワクチン接種の現状と今後の予定について(65歳以下の接種)

文教民生常任委員会は、8月3日、ワクチン接種推進本部と第二委員会室において下記の事項について調査した。

- ① ワクチン供給量が減少の報道があるが、今後の接種スケジュールに問題がないか。
- ② ワクチン接種の副反応の発生状況。
- ③ 大規模接種や職域接種を受けた方について、町はどの様に把握するのか。
- ④ 12歳以上の児童生徒の接種時期。
- ⑤ 若年層への接種について。
- ⑥ 介護を受けている方や障がいがある方で接種会場に行くことが困難な町民への対応。
- ⑦ ワクチン接種業務に従事している職員の健康状態と現時点での課題。
- ⑧ ワクチン2回接種終了後、追加接種の必要性和町の方針。

